

今月は、新幹線技術の特集しました。本来であれば、今頃は2度目の東京オリンピックおよびパラリンピックで日本中が熱気に包まれていた頃かと思います。本号の特集も、世界初の高速鉄道である東海道新幹線が1964年の東京オリンピックの開幕に合わせて開業したことから、オリンピック/パラリンピック開催期間中の発行となるタイミングに合わせて企画したものでした。新幹線は、この56年間で総延長が5倍以上の約2,765kmとなり、最高営業速度も100km/h以上向上しました。その発展には、鉄道総研が開発した多くの技術開発成果が関わっています。残念ながら、新型コロナウイルスの蔓延<sup>まんえん</sup>にともない、オ

リンピック/パラリンピックが延期となり、新幹線の利用者数が低迷している中での発行となってしまいました。本号を読んでもくださった多くの皆様が、ふたたび新幹線で日本全国へ自由な旅ができる日常に早く回復することを祈るとともに、特集で紹介した技術開発成果を知ったことで、新たな目線による新幹線の旅を楽しんでいただければ幸いです。

次号では、列車の安全な運行やメンテナンスなどを支援するために、いろいろな対象物を目で見える形で表現する「鉄道の見える化技術」について特集します。どうぞご期待ください。(N. K.)